



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 126

平成19年4月27日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimu@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

清水理事長 九州耳鼻科医学会協議会で講演

4月15日(日)福岡市の博多都ホテルで九州沖縄8県が集まった平成18年度九州耳鼻咽喉科医学会協議会(担当大分県・会長進保政先生)で清水日耳鼻医学会理事長は「今後の医学会活動」と題して約1時間講演を行った。

今年創立40周年になる「医連」誕生の理由やそれに学会が主導的役割を果たした事、その後の「内憂外患」について触れ、今後どのように活動してゆきたいかということ、先日役員を対象に行ったアンケートの分析結果をもとに話をし、日耳鼻医学会への支援と理解を求めるとともに、耳鼻咽喉科開業医の大同団結を訴えた。

平成19年度 総会予告

日時:平成19年6月24日(日)午後1時~午後5時

場所:サピアタワー6階605 (JR東京駅横)

第1部 代議員会ならびに総会(1時00分~3時30分)

1)報告 平成18年度庶務報告及び事業報告

2)議事(承認を求める件)

第1号議案 平成18年度収入・支出決算

第2号議案 平成19年度事業計画(案)

第3号議案 平成19年度収入・支出予算(案) 他

第2部 懇親会(午後3時30分~5時)

レセプトオンライン化について

診療所のレセプトオンライン請求のスケジュール

1. レセコンあり 22年4月1日
2. レセコン無し(3を除く) 23年4月1日
3. レセコン無し+少数該当+既設

(23年4月から2年の範囲内で別に定める日)

オンライン請求の義務化以降、これ以外の方法でのレセプト提出については、ディス・インセンティブ(例えば、請求を受け付けない、追加費用を徴収する、支払期日を遅くする等)を検討が。

3月29日の日医発第1253号では、日医が求めている周辺問題の解決に関する現時点での交渉などの進捗状況を以下のように報告している。(抜粋)

(1)特に診療所については、最終的には一律義務ではなく希望する会員が実施出来るように「手挙げ方式」を前提に対応するように働きかけている。

(3)被保険者証の有効性確認システムの確立については、平成20年度から被保険者証はQRコードを装着する様式が原則となるが、新様式の普及には一定期間を要する模様である。

(7)平成23年4月1日から2年間のうちで、厚生労働大臣が定める間ではオンライン請求で無くてもよいこととなっている(中略)との条件については緩和させる方向で交渉中である。

(本文書が必要な時は日耳鼻医学会事務局まで連絡を)

「GIFU FORUM 2007 in 飛騨高山」へ

日本ど真ん中フォーラム
耳鼻咽喉科医の新生を目指して!

日時:平成19年8月25日(土)26日(日)

会場:飛騨・世界生活文化センター

担当:岐阜県耳鼻咽喉科医学会

「新法法人」への移行に「待った」

厚労省、国税庁と詰めの作業

出資額限度法人を含めた持ち分あり社団医療法人から、改正医療法の施行に伴い今月から運用された持ち分なしの新たな医療法人への移行について厚労省が「待った」をかけている。現時点で移行すると課税される可能性もあることから、厚労省は持ち分あり社団の理事長らに対して、課税問題が決着するまで移行しないよう呼び掛けている。厚労省は3月30日付で都道府県に送付した医政局長通知などで、法律上「当分の間」存続することになった持ち分あり社団医療法人と出資額限度法人の名称を「経過措置型医療法人」と規定した。

医療事故・訴訟ニュースヘッドライン

医療ミスで3日後に死亡 胃ガン手術で血管に傷

岐阜県総合医療センター、門脈に傷、内出血で死亡

肝臓にチューブ刺さり死亡 男性患者医療ミスで捜査

胸水を抜く処置後にチューブ肝臓に刺さり、出血死

病変見逃し足に後遺症 20代女性患者手術方法に誤り

皮膚切除後筋肉に壊死をおこし後遺症。

新生児脳性麻痺 1億2000万円賠償命令 地裁弘前支部

妊婦と胎児の状態の経過観察義務を医師が怠った。

八戸市に約3200万円の賠償命令

壊疽悪化での大腿切断は医師の注意義務違反と因果関係

体内に27年余りガーゼ放置 横浜市立大附属病院

背中を切開しての椎間板ヘルニア手術で止血の為に使用

温故知新 - 日耳鼻医連の歴史を振り返る - 3 -

臨床家フォーラムの始まり

昭和45年漸く耳鼻科処置点数が復元された後、これで医連の役目は終わったという意見が医連の外で出始めた。しかし当時の初代会長河嶋光は近い将来再び同じ問題が勃発することを危惧し、その対策として「臨床家フォーラム」を提案、昭和50年12月「副鼻腔炎をめぐる」のテーマで第1回臨床家フォーラムが開催された。

河嶋会長は挨拶の中で「フォーラムの主眼点は、私共耳鼻科臨床家の集まりとして、日常診療につき、素朴に、赤裸々に、且つ肩の凝らない気安さで話し合い、日常診療の喜びや不満を、忌憚なく発言し、権威者から論評して頂き、更に再討論して・・・」と述べている。

参考文献:臨床家フォーラムその歴史と未来への展望

(1995年東京フォーラム実行委員会編) - 続く -

プロスタグランジン抑制剤ロソキサール配合の鼻噴霧剤
アレルギー性鼻炎治療剤

バイナス 50mg錠 75mg錠

ロソキサール製剤

Baynas®

製造販売元: 日本新薬株式会社 (www.shinyaku.co.jp)
代理店: 株式会社 三和堂 (www.sanwachou.co.jp)
お問い合わせ: 03-5524-5228

※本剤の成分に対する安全性は確立していません。
【服用上の注意】を必ずお読みください。

販売 (資料請求先: 事務局) 製造販売元
日本新薬株式会社 三和堂株式会社
東京都中央区京橋2-11-8 大阪府交野区富田3-5-38

(2006年7月現在)